

諸外国における慢性疲労症候群罹患者に対する献血制限について

平成 22 年 11 月現在

1．現時点において、XMRV 感染リスクに対する予防的措置として、既往歴も含め、慢性疲労症候群罹患者に対する献血制限の実施が確認されている国

カナダ（除くケベック州）・・・別添 1  
オーストラリア・・・別添 2  
ニュージーランド・・・別添 3

なお、イギリスは、現時点では慢性疲労症候群と XMRV との関係を示す疫学的エビデンスはないとした上で、ドナーの健康確保の観点から、既往歴も含めた献血制限を実施している（別添 4）。

2．献血時に健康であることを前提とした上で、現時点において、慢性疲労症候群の既往歴まで含めた献血制限は勧告・実施していない国

米国（FDA）（注）・・・別添 5  
カナダ・ケベック州・・・別添 6  
日本

（注）なお、AABB（米国血液銀行協会）は、慢性疲労症候群の既往がある方の献血の辞退を促すよう、会員に対し自主的に勧告している。（別添 7）

その他の欧州諸国については、現在調査中。

（血液対策課調べ）